

神奈川・湘南 自然派 EC ブランドが和紙糸 80%の足袋型靴下を発売

縫製職人と共に天然素材を追求 足元から健康と快適を支える

私は、自然由来の化粧品や食品を開発・販売する株式会社 chitree organic の坂東寛（ばんどう ひろし）と申します。このたび、和紙糸を素材とするアパレルブランド「いきのを」を立ち上げ、その第一弾商品として靴下「草燥と」を2025年1月29日（水）10時より自社オンラインショップで発売いたします。

この靴下は、繊維が長いマコソ麻を使用した和紙糸の比率を業界初の 80%という高配合で採用し、足元の冷えや汗の悩みに応える商品です。外側は足袋型、内側は 5 本指という独自の設計に加え、着圧編みを取り入れたことでむくみ軽減も期待できます。片足あたり約 40 分を要する製造工程のため、初回生産分は 2,400 足限定となり、次回入荷は 9 月を予定しています。



足袋型と5本指ソックスの特徴を兼ね備えた独自の設計



開発した店主おちづ（左）と縫製工場の製造部長（右）



家族全員が間違えずに使用できるように6色を揃えた

現在、化学繊維が主流の市場において、環境への意識の高まりを背景に自然へ循環される天然繊維が改めて注目されています。*参考/令和5年経済産業省製造産業局資料「天然繊維における環境配慮等の取組について」

当社では、和紙という日本の伝統の素材に出会い、長年の夢であった「快適さ」「健康」を両立させる靴下を開発しました。「草燥と」は、通常 20~30%が一般的とされる和紙糸の使用比率を 80%に設定。これは、和紙本来の吸湿性や速乾性といった特性を最大限に引き出すためのギリギリの数値です。製造は、手袋の産地として名高い香川県東かがわ市内の縫製工場に依頼して試作を重ね、素材だけでなく、技術、デザインすべてにおいて妥協のないこだわりの一足に仕上げました。

「いきのを」というブランド名は、「息（呼吸）、生きる」と「緒（つながり、糸）」に由来し、和紙糸という素材と生活を心地よく繋ぐ存在として誕生しました。また、靴下の商品名「草燥と」は造語で、読み方に縛られず、植物の息吹を感じ取ってほしいという思いを込めています。開発者の店主おちづ自身や、家族の足の悩みを解消するために「肌着になる靴下」を目指して作られたこの商品は、6色展開にすることで、家族全員が間違えずに使用できるよう配慮しています。

「いきのを」は、靴下にとどまらず、和紙糸の特性を活かしたタオルや肌着などの商品展開を予定しています。当社の商品を通じて身体の声に耳を傾け、自分自身を大切にすることをこれからも提案してまいります。



代表と店主おちづ/本鶴沼の店舗で商品の体験が可能（営業不定期）



パッケージと商品

【商品概要】いきのを 和紙靴下「草燥と」

発売：2025年1月29日（水）10時より発売

カラー：6色/深紅、生成、雲霞、炭、墨、抹茶

サイズ：S/21-24 cm、L/25-27 cm

価格：S/3,410円（税込）、L/3,630円（税込）

素材：分類外繊維（和紙）80%

ポリエステル 17%、ナイロン 2%、ポリウレタン 1%

販売：ECサイト <https://chitree-onlineshop.com>

生産：日本



ご取材いただけます場合は、下記までご連絡ください

<取材のお問い合わせ先>

株式会社 chitree organic 代表取締役 坂東寛（ばんどう ひろし）

本社：神奈川県茅ヶ崎市赤羽根 3292-2 HP サイト：<https://chitree-organic.com>

広報担当：藤田智子 携帯：080-5372-9121（本社：0467-81-5198）Mail：koho@fujitomo-pr.com

